



上川井だより

令和4年5月31日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎 真紀子

6月号

全力 協力 燃えろ 上川井！

抜けるような青空の下、上小オリンピックを開催いたしました。上小オリンピック開催にあたり、保護者の皆様には様々な対応にご協力いただき、また、一生懸命頑張る子どもたちを温かく応援していただき、ありがとうございました。

表題は、子どもたちが掲げたオリンピックのテーマです。「悔いの無いように全力で取り組み、友達や仲間と協力し合って競技に励み、闘志を燃やして頑張りましょう。」と児童代表の6年生が開会宣言をして始まりました。

前日の土砂降りに冷や冷やしましたが、みんなの願いが通じて空はこの上なく晴れわたり、それぞれのがんばる汗や笑顔がきらきらと輝く1日となりました。

本校では、毎年、上の学年が下の学年の子に教えながら演技の練習をします。

「ここは、少し腰を低くしてね。」「もっと、手を上にあげた方がかっこよくなるよ。」低学年も高学年もより良い演技にしていくために教えあいます。教室に戻っても自分たちの練習の姿をビデオで確認しながら、改善点を話し合っていました。全体で集まったの練習は3~4回だけです。子どもたちは、中休みや昼休みを使って自主的に練習を重ね、朝は歌を口ずさみながら演技の確認をしていました。

この時期を迎えるたびに、行事の持つ力を感じます。「勝ちたい」「かっこよく踊りたい」「係を頑張りたい」それぞれが自分の目標をもち頑張る姿は、まさに学校教育目標である「自分が輝き、みんなが輝く」姿です。「緊張するなあ。」「ドキドキする。」「あのね、私運動会がすごく楽しみなの。」「あと何回寝たら運動会？」と、何人にも声を掛けられました。緊張と期待が日に日に高まっていきます。玉入れでよく入る玉の投げ方を見つけたという子、クラスで練習する長縄に引っかからないように足に気をつけるという子、「まだ頑張れる」「もっと練習したい」という気持ちが子どもたちを強くたくましくしていきます。自分の内側からなりたい自分に向かって努力するときは、いろいろと指示を出す必要はありません。初夏の草木のごとく、自分でぐんぐん伸びていきます。そして、そばで支える教職員も「まだ頑張れる」「もっと、もう少し」と、話し合いを重ねながら、子どもたちの気づきを促す工夫に日々取り組んでいます。伸びやかな若木が健やかに生長するように、環境を整え、守ることも私たち教職員の役目です。今年度は、水泳学習や校外学習、宿泊体験にも取り組む予定です。どの子も目標をもち、自分らしく輝くことができるようにしていきたいと思えます。